

Lesson 05 「古墳期の社会」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【古墳時代の区分】

「古墳時代」(3世紀後半～7世紀半ば)

- { 1 } → (卑弥呼の死後の時代に合致する)
- { 2 }
- ※ 5期区分とした場合 { 3 }
- { 4 }
- { 5 } → (一部の地域にのみ限定される)

【古墳の成立】

(1) 出現期古墳 (～3世紀後半)

- 地域 … { 6 } の首長/有力層の墳墓が出現
- 古墳のさまざまな形状 { 7 }
 - ・ 前方後方墳
 - ・ { 8 }
 - ・ 方墳 など
- 出現期の古墳は、西日本では～「前方後円墳」が多い(≡重要)
東日本では～「前方後方墳」が多い
- 墳墓の形と規模：被葬者の地位や権力の大きさ
- 首長権力の強大化、支配者的性格の強化
- 出現期の最大古墳は、奈良県 桜井市 纏向遺跡に位置する { 9 }
※かつて卑弥呼の墓として有力視

(2) 前期古墳 (3世紀後半～4世紀末)

- ～ 前方後円墳 ～
- 立地 ～ 台地上や尾根上
- 構造 ～ 築いた 墳丘 の斜面に { 10 } を敷き、
{ 11 } を設置
→ 前期古墳の埴輪は { 12 }
- 埋葬施設 ～ 墳丘の頂部に墓室(多くの場合)
= { 13 } ・ 粘土槨
- 副葬品 ～ 銅鏡 ・ { 14 } ・ 管玉
碧玉製腕飾り ・ 鉄製武器 ・ 農工具
- 被葬者 ～ { 15 } 的な性格の人物であることが推察できる
- 古墳群の造営 ～ 首長代替わりごとに築造、首長継承儀式的場

【古墳の発展】

(3) 中期古墳 (5世紀)

- 巨大な前方後円墳 = **大王** おおきみ 権力の強大化
拠点: { 16 } **平野** } … 世界文化遺産: { 17 } **古墳群** }
- 立地 ～ 平野部
- 代表例 ～ 大阪府羽曳野市: { 18 } **古墳** } … 伝: 応神天皇 陵
※世界最大、
大阪府堺市: { 19 } **古墳** } … 伝: 仁徳天皇 陵
- 分布
 - ・ 鹿児島県から岩手県におよぶ範囲 = { 20 } の勢力圏拡大
 - ・ 岡山平野の「巨大前方後円墳」… この地域の有力首長の存在を意味する
例～岡山県: { 21 } **古墳** }
 - ・ 北関東地方「巨大前方後円墳」… この地域の有力首長の存在を意味する
例～群馬県: { 22 } **古墳群** }
- 副葬品 ～ 鉄製甲冑・刀剣、馬具、冠、金銅製装身具(大陸系技術)
- 被葬者 ～ { 23 } 的な性格の人物(軍事指導者)であると推察できる
(大陸の技術や文化に関心)

【古墳の変貌】

(4) 後期古墳 (6～7世紀)

- 古墳の小規模化(直径10mほど)～円墳 ・ { 24 }
- 小規模古墳が密集 = { 25 } ← 有力農民層の台頭
- 前方後円墳が小規模化(近畿中央部以外)
→ 畿内ヤマト政権と、地方有力首長の「力の差」の拡大が推察される
- 埋葬施設 ～ 合理的な変化が現れる
{ 26 } ～ 家形石棺(大陸系文化) → { 27 } 可能
- 副葬品 ～ 日常品 / 馬具・装身具、{ 28 } など
→ 墓室 = 死後の生活を想定していると考えられる
- 代表例 ～ 和歌山県: { 29 }、奈良県: 新沢千塚、
神奈川県: 桜土手古墳群

(5) 終末古墳 (7世紀はじめ～7世紀半ば)

- ▶▶▶ 「前方後円墳」や「群集墳」が減少
▶▶▶ 畿内中央の一部の有力層の墓に限定されていく
- 大王墓や王族の墓 ～ 氏の権威・権力の象徴
- 形状 ～ 八角形墳、上円下方墳、彩色壁画 → **装飾古墳**
- 代表例 ～ 奈良県: { 30 } **古墳** ・ { 31 } **古墳** }、
奈良県: { 31 } **古墳** } … 伝: 蘇我馬子の墓
※これらの古墳はすべて、奈良県: { 32 } **村** } に位置する